

### 大阪はびきの医療センター 臨床評価指標《基本情報》

項目	平成26年度 数値	平成27年度 数値	平成28年度 数値	単位	収集期間	定義	備考
<b>【入 院】</b>							
稼働病床数	495	434	434	床	平成28年度		実際に使用している入院ベッドの数です。
新入院患者数	8,790	9,322	9,183	人	平成28年度		1年間に入院された患者さんの数です。
延べ入院患者数	133,572	126,002	125,228	人	平成28年度		入院された患者さんの数の1年間の累計です。
1日平均入院患者数	366.0	344.3	343.1	人	平成28年度	延べ入院患者数/365	1日平均、何人の患者さんが入院されているかを示しています。
退院患者数	8,797	9,286	9,198	人	平成28年度	期間中の退院患者数	1年間に退院された患者さんの数です。
年齢階層別退院患者数(※1)	別紙1参照	別紙1参照	別紙1参照		平成28年度	退院時点の年齢で集計	退院患者さんの年齢の特徴を示しています。
主要疾患別患者数(※2)	別紙2参照	別紙2参照	別紙2参照		平成28年度	原則としてICD3桁分類の上位20疾患とする。	主にどのような病気を扱う病院かを示しています。
疾病分類別患者数(※3)	別紙3参照	別紙3参照	別紙3参照		平成28年度		
診療圏別退院患者数(※4)	別紙4参照	別紙4参照	別紙4参照		平成28年度	府下を11ブロックに分けて集計	どの地域から、どのような病気で受診されているかを示しています。
病床利用率 (全体)	73.9	79.3	80.5	%	平成28年度		病床数に対して、どれだけの患者さんが利用したかを表し、1年間に平均してどれだけベットを利用したか示しています。
(一般)	78.8	81.6	81.6				
(結核)	54.6	67.3	74.2				
平均在院日数 (全体)	15.2	13.5	13.6	日	平成28年度	延べ患者数/(新入院患者数+退院患者数)÷2	急性疾患を取り扱うのか、慢性疾患を取り扱うのか、病院の特徴を示します。慢性疾患の患者さんが多いと在院日数が長くなります。
(一般)	13.3	12.0	12.1				
(結核)	73.7	71.1	73.5				
病床回転率 (全体)	17.8	21.4	21.6	回	平成28年度	(病床利用率/100)×365/平均在院日数	空きベッドの数も考慮して計算された、入院ベッドの利用効率を示します。慢性疾患の患者さんが多いと回転率は下がります。
(一般)	21.6	24.8	24.6				
(結核)	2.7	3.5	3.7				
入院外来比率	1:1.1	1:1.2	1:1.2	%	平成28年度	延べ外来患者数/延べ入院患者数×100	入院加療を中心とする病院か、外来診療を中心とする病院かという特徴を示します。
予定しない再入院率	-	-	-	%	平成28年度	退院後一ヶ月以内に同一の疾患で予定していない再入院患者数/退院患者数×100	
退院患者中の褥創(Ⅱ度以上)の院内発生率	0.02	0.02	0.03	%	平成28年度	NPUAP分類においてStageⅡもしくはDESIGN評価表においてd2以上の褥瘡を有する患者/延べ入院患者数×100	
退院計画立案率	92.6	98.6	95.8	%	平成28年度		
退院サマリー完成率	91.1	91.0	91.2	%	平成28年度		

【外 来】

新外来患者数	9,987	10,500	11,517	人	平成28年度	初診料を算定した外来患者数+他科の初診患者数(入院中の外来初診を含む)	新に外来受診された患者さんの数です。
延べ外来患者数	151,330	153,673	148,971	人	平成28年度	初診料と外来診療料を算定した延べ患者数	外来受診された患者さんの数の1年間の累計です。
平均通院回数	15.2	14.6	12.9	日	平成28年度	延べ外来患者数/新外来患者数	ひとりの患者さんが1年間に何回通院されたかを示しています。
1日平均外来患者数	620.2	632.4	610.5	人	平成28年度	延べ外来患者数/診療日数	1日に平均何人、受診されたかを示しています。
紹介率	67.3	62.0	62.1	%	平成28年度		外来患者さんのうち、紹介されてこられる方の割合です。普段のかかりつけというような一次医療が中心か、専門的な病院かを示します。
逆紹介率	48.2	49.1	43.3	%	平成28年度		逆にこの病院から他病院への紹介の割合です。
救急車搬送患者数救	688	662	540	人	平成28年度	・救急車で搬送された全ての患者で再診患者、外泊患者等を含む。 ・医療機関に所属する救急自動車(ドクターカー:自院、他院を含む)で搬送された患者も含む。	救急車で搬送された患者さんの数です。
初診予約率	-	-	-	%	平成28年度	予約があった初診患者数/初診患者数×100	外来の予約制がどの程度浸透しているかを示します。

【死亡患者】

死亡退院数	376	299	272	人	平成28年度		当センターで一年間に死亡された患者さんの数です。
粗死亡率	4.3	3.2	2.6	%	平成28年度	死亡患者数/退院患者数×100	当センターに入院した患者さんの死亡の割合です。高度な医療を提供する病院では重症の患者さんを取り扱うことも多いので、数字は高くなります。
精死亡率	4.0	3.0	2.7	%	平成28年度	全死亡患者数-入院後48時間以内死亡/退院患者数×100	入院して48時間以内の死亡は、病院内での診療を反映しないことも多いので、この死亡を除いた上での死亡率です。
剖検数	6	5	5	件	平成28年度	死亡退院患者のうち病理解剖実施件数	「剖検」とは病理学的な解剖のことで、死亡した患者さんの死亡原因を詳しく調べる検査です。剖検数が多い病院は死亡原因解明のためにしっかりと取り組んでいるということも示しますが、ご遺族にとって複雑な思いを喚起させる検査でもあり、解釈には注意が必要です。
剖検率	1.6	1.7	1.8	%	平成28年度	剖検数/死亡退院患者数×100	

【手 術】

施設基準に掲げる手術件数(※5)	545	473	541	件	平成28年度	医科点数表第2表第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術の件数(当該年1月から12月までの件数)	難易度及び診療報酬上の点数単価が高い手術について、1年間に実施した件数です。
入院手術件数	1,846	1,851	1,846	件	平成28年度	手術室利用手術件数	1日以上入院して実施された手術の件数です。
日帰り手術患者数	138	124	163	件	平成28年度	日帰り手術患者数は、入院基本料を算定しており、手術施行した患者で在院日数1日の患者数をいう。	日帰りで実施された手術の件数です。
全身麻酔件数	665	643	701	件	平成28年度		
硬膜外併用脊髄くも膜下麻酔	157	195	146	件	平成28年度		
硬膜外麻酔	382	350	404	件	平成28年度		
脊髄くも膜下麻酔	178	147	118	件	平成28年度		
伝達麻酔	0	0	0	件	平成28年度		
その他の麻酔	874	895	906	件	平成28年度		

【医療安全】

医療事故発生件数	14	7	12	件	平成28年度	公表基準による医療事故(レベル3b以上)の年間件数 レベル3b:濃厚な処置や治療を要した事例 レベル4:患者に永続的な障害が残った事例 レベル5:死亡(原疾患の自然経過によるものを除く。)	医療に関する透明性を高めるため、府立5病院では、共通の公表基準にもとづき、医療事故を公表しています。
----------	----	---	----	---	--------	---	--

【その他】

研修医受入れ人数	0	0	0	人	平成28年度	各月1日における人数の平均	病院として、医師の教育に積極的に取り組んでいるかを示しています。
レジデント受入れ人数	4.3	1.25	2	人	平成28年度	各月1日における人数の平均	
指導医数	50	51	51	人	平成28年 4月現在	5年以上の臨床経験を有するものであって、プライマリケアを中心とした指導を行うことができる経験及び能力を有している者(当該年度4月1日時点)	
医療相談件数	4,130	1,691	1,404	件	平成28年度	医療相談室等で受けた相談件数(医療相談の専任者が実施する場合を含む)	専門の職員による医療や社会保障制度等に関する相談、支援の体制を示しています。
医療相談件数のうち医療ソーシャルワーカーが受けた件数	4,130	1,691	1,404	件	平成28年度	1援助のべ件数	
セカンドオピニオン件数	17	9	25	件	平成28年度	新規相談件数	肺腫瘍、肺炎腫、非感染性呼吸器疾患を対象としています。
患者対看護職員数	7対1	7対1	7対1		平成28年度	看護体制(一般病棟)	看護体制の充実度を示しています。
	7対1	7対1	7対1		平成28年度	看護体制(結核病棟)	
認定看護師数	6	6	6	人	平成28年度	日本看護協会が定める認定看護師の有資格者数(当該年度末日時点)	
専門看護師数	2	2	2	人	平成28年度	日本看護協会が定める専門看護師の有資格者数(当該年度末日時点)	
継続看護の実施件数	293	240	316	件	平成28年度	在宅療養指導料算定患者数。B001-13(170点)を算定した実件数	在宅での療養支援に積極的に取り組んでいるかを示しますが、病院の扱う疾患の特徴にも左右されます。
大阪府立看護大学大学院非常勤講師	1	1	1	人	平成28年度		
実務実習認定薬剤師	7	7	6	人	平成28年度	日本病院薬剤師会が定める長期実務実習指導薬剤師の有資格者	薬学部の学生の薬局業務についての実務実習を指導します。
院外処方箋率	93.31	93.60	93.42	%	平成28年度	(院内処方箋枚数/外来処方箋枚数)×100	医薬分業に積極的に取り組んでいるかを示しています。ただし、まれな疾患にしか使わない薬を多く処方される病院もあります。
診療情報の開示件数	18	13	18	件	平成28年度	年間の総開示件数	
治験実施件数	34	37	37	件	平成28年度		臨床試験に積極的に取り組み、新しい治療法、新薬の開発に貢献しているかを示しています。
クリニカルパス種類数	71	258	297	種	平成28年度		
クリニカルパス適用率	59.2	59.0	62.2	%	平成28年度	(クリニカルパス適用患者数/退院患者数)×100	医療の標準化に積極的に取り組んでいるかを示しています。ただし、高度な医療を提供する病院では適用が難しい場合も多くあります。
放射線治療件数	4,156	4,508	2,138	件	平成28年度		平成28年度下半期は放射線治療装置が入れ替え工事のために使用できず、例年の半分程度の実施件数になりました。
CT撮影件数	11,134	11,650	12,005	件	平成28年度		
MRI撮影件数	2,039	2,136	2,262	件	平成28年度		
病院職員のインフルエンザワクチン接種率	77.5	82.3	90.7	%	平成28年度		
職員の健診受診率	95.2	95.8	97.9	%	平成28年度		

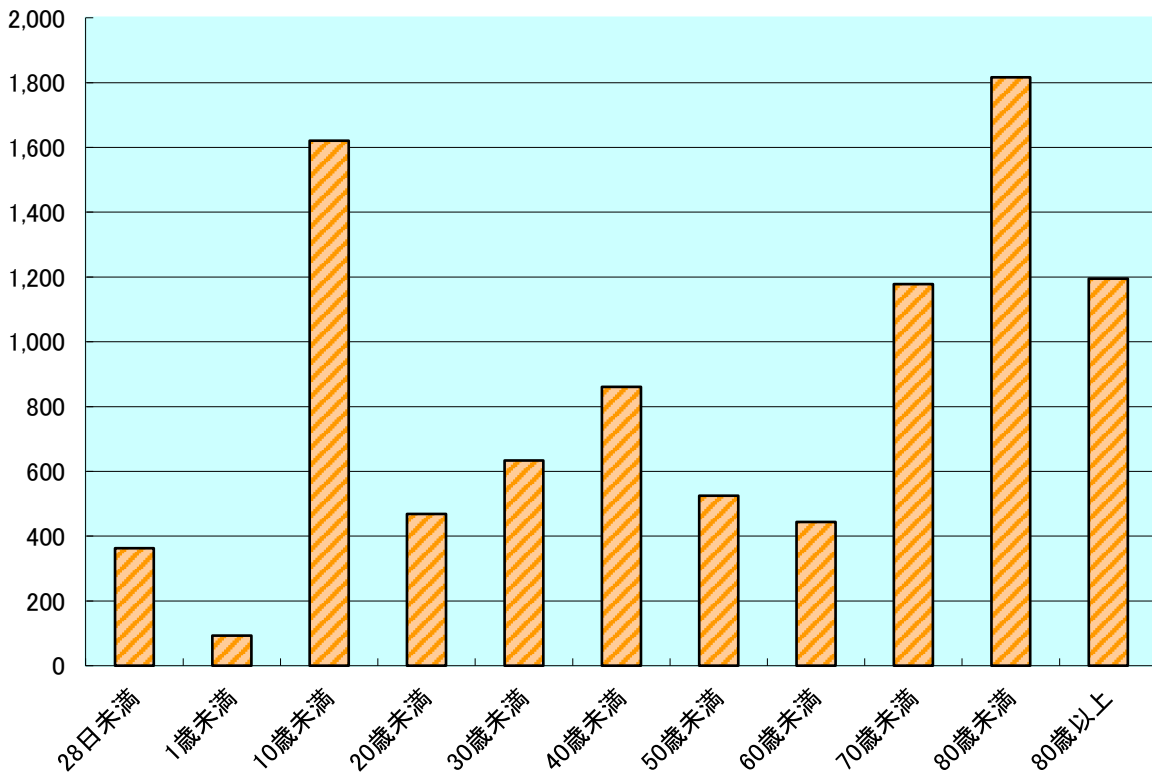


※1 年齢階層別退院患者数

	年齢階層	退院患者数	(うち死亡患者数)
1	28日未満	363	0
2	1歳未満	93	0
3	10歳未満	1,621	0
4	20歳未満	468	0
5	30歳未満	633	0
6	40歳未満	861	0
7	50歳未満	525	3
8	60歳未満	444	15
9	70歳未満	1,178	57
10	80歳未満	1,817	99
11	80歳以上	1,195	98
	合計	9,198	272

※年齢は退院時年齢

年齢階層別退院患者の状況



## ※2 主要疾患別患者数

	ICD-10	3桁分類項目	主な病名	退院患者数	うち死亡数
1	T78	有害作用、他に分類されないもの	食物アレルギー	1447	0
2	C34	気管支および肺の悪性新生物	肺癌	1358	129
3	H25	老人性白内障	老人性白内障	444	0
4	L20	アトピー性皮膚炎	アトピー性皮膚炎	304	0
5	J15	細菌性肺炎、他に分類されないもの	細菌性肺炎	277	11
6	J46	喘息発作重積状態	気管支喘息発作	204	1
7	A15	呼吸器結核、細菌学的または組織学的に確認されたもの	肺結核	179	14
8	J84	その他の間質性肺疾患	間質性肺炎	178	22
9	C50	乳房の悪性新生物	乳癌	164	5
10	O68	胎児ストレス[仮死<ジストレス>] を合併する分娩	胎児徐脈	138	0
11	P22	新生児の呼吸窮<促>迫	新生児一過性多呼吸	137	0
12	O62	娩出力の異常	微弱陣痛	132	0
13	J93	気胸	気胸	126	1
14	J45	喘息	気管支喘息	124	0
15	O42	前期破水	前期破水	108	0
16	J44	その他の慢性閉塞性肺疾患	慢性閉塞性肺疾患	104	5
17	H35	その他の網膜障害	黄斑変性	99	0
18	G47	睡眠障害	睡眠時無呼吸症候群	97	0
19	O70	分娩における会陰裂傷<laceration>	会陰裂傷	97	0
20	A31	その他の非結核性抗酸菌による感染症	肺非結核性抗酸菌症	91	4
合 計				5,808	192

## ※3 疾病分類別患者数・平均在院日数

	分類	患者数	うち死亡数	平均在院日数
I	感染症及び寄生虫症(A00-B99)	473	27	43.2
II	新生物(C00-D48)	2,207	160	16.8
III	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50-D89)	20	1	17.2
IV	内分泌、栄養および代謝疾患(E00-E90)	54	1	9.4
V	精神および行動の障害(F00-F99)	8	0	11.6
VI	神経系の疾患(G00-G99)	162	1	3.9
VII	眼および付属器の疾患(H00-H59)	616	0	8.5
VIII	耳および乳様突起の疾患(H60-H95)	5	0	6.8
IX	循環器系の疾患(I00-I99)	274	12	14.7
X	呼吸器系の疾患(J00-J99)	1,684	65	20.2
X I	消化器系の疾患(K00-K93)	106	0	11.5
X II	皮膚および皮下組織の疾患(L00-L99)	379	0	18.8
X III	筋骨格系および結合組織の疾患(M00-M99)	37	3	43.6
X IV	腎尿路生殖器系の疾患(N00-N99)	184	0	5.9
X V	妊娠、分娩および産じょく<褥>(O00-O99)	1,117	0	6.3
X VI	周産期に発生した病態(P00-P96)	344	0	6.7
X VII	先天奇形、変形および染色体異常(Q00-Q99)	28	1	8.6
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの(R00-R99)	6	0	20.0
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響(S00-T98)	1,494	1	2.2
X X	傷病及び死亡の外因(V01-Y98)	0	0	0.0
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービス(Z00-Z99)	0	0	0.0
	合 計	9,198	272	13.7

## ※4 主要疾病別・診療圏別退院患者数

基本分類項目(ICD-10準拠)	大阪市	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	他府県	合計
1. 感染症及び寄生虫症(A00-B99)	101	1	0	10	110	174	29	25	23	473
2. 新生物(C00-D48)	101	5	3	11	319	1,637	68	20	43	2,207
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害(D50-D89)	1	1	1	0	1	13	0	0	3	20
4. 内分泌, 栄養及び代謝疾患(E00-E90)	3	0	0	0	1	47	3	0	0	54
5. 精神及び行動の障害(F00-F99)	1	0	0	0	0	6	1	0	0	8
6. 神経系の疾患(G00-G99)	2	0	2	0	20	112	13	11	2	162
7. 眼及び付属器の疾患(H00-H59)	11	0	0	0	14	573	8	1	9	616
8. 耳及び乳様突起の疾患(H60-H95)	1	0	0	0	0	4	0	0	0	5
9. 循環器系の疾患(I00-I99)	10	1	0	1	40	206	13	2	1	274
10. 呼吸器系の疾患(J00-J99)	163	3	1	20	285	1,015	80	42	75	1,684
11. 消化器系の疾患(K00-K93)	2	1	0	0	9	82	7	4	1	106
12. 皮膚及び皮下組織の疾患(L00-L99)	41	18	5	13	26	92	40	17	127	379
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患(M00-M99)	0	0	0	0	6	26	1	4	0	37
14. 尿路性器系の疾患(N00-N99)	2	0	0	0	15	156	5	0	6	184
15. 妊娠, 分娩及び産褥(O00-O99)	50	8	7	6	82	834	26	14	90	1,117
16. 周産期に発生した病態(P00-P99)	16	4	3	2	31	246	11	6	25	344
17. 先天奇形, 変形及び染色体異常(Q00-Q99)	1	0	0	0	6	15	1	1	4	28
18. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの(R00-R99)	0	0	0	0	1	4	0	0	1	6
19. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響(S00-T98)	184	71	17	29	148	407	313	102	223	1,494
20. 傷病及び死亡の外因(V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用(Z00-Z99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	690	113	39	92	1,114	5,649	619	249	633	9,198
構成比率 (%)	7.5%	1.2%	0.4%	1.0%	12.1%	61.4%	6.7%	2.7%	6.9%	100.0%
(参考)平成27年度 合計	706	86	37	74	1,112	5,764	699	240	568	9,286

※5 施設基準に掲げる手術件数  
(医科点数表第2章第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術)

区分1に分類される手術		平成28年
ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	0
イ	黄斑下手術等	0
ウ	鼓室形成手術等	0
エ	肺悪性腫瘍手術等	199
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	2

区分2に分類される手術		平成28年
ア	靭帯断裂形成手術等	0
イ	水頭症手術等	0
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0
エ	尿道形成手術等	0
オ	角膜移植術	0
カ	肝切除術等	1
キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等	10

区分3に分類される手術		平成28年
ア	上顎骨形成術等	0
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	0
ウ	バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	0
エ	母指化手術等	0
オ	内反足手術等	0
カ	食道切除再建術等	0
キ	同種死体腎移植術等	0

区分4に分類される手術		平成28年
胸腔鏡又は腹腔鏡を用いる手術等		283

その他の区分に分類される手術		平成28年
ア	人工関節置換術	0
イ	乳児外科施設基準対象手術	0
ウ	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	12
エ	冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含む。)及び体外循環を要する手術	0
オ	経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫切除術及び経皮的冠動脈ステント留置術	34

※1 手術件数は、各年1月から12月までの1年間の実績